

## EbHW 鈴木 隆雄会長による指導・助言の下、以下の研究開発事業を実施。

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)  
 平成30年度「ロボット介護機器開発・標準化事業 (開発補助事業)」  
 研究開発課題名：コミュニケーションロボットによる個々の高齢者の生活機能維持・改善の支援を目的とした機能の開発と評価

### 平成30年度成果

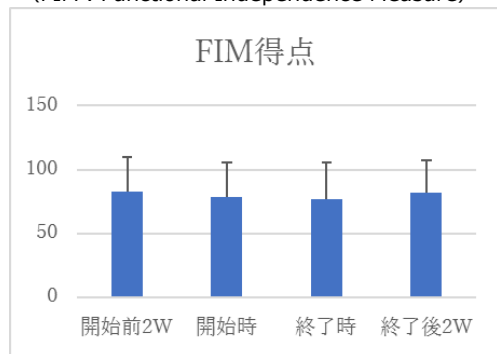
富士ソフトが開発・製造・販売を行うコミュニケーションロボット PALRO を活用し、高齢者の日々の生活機能状態の記録、PALROの実行ログ記録、見守りセンサの参照データなど、高齢者の日常生活に関する様々な情報を収集・分析し、PALROによる施設高齢者個々への最適な促しの設定を簡便に行うための機能開発・検証を実施。

約8週間の実証実験の結果、認知症初期段階にある施設高齢者に対して PALROが日常生活の中で会話や歌・体操等の促しを行うことで、  
**「生活機能は維持され、精神的健康度が良好になる高齢者が増加すること」**  
 が示唆された。

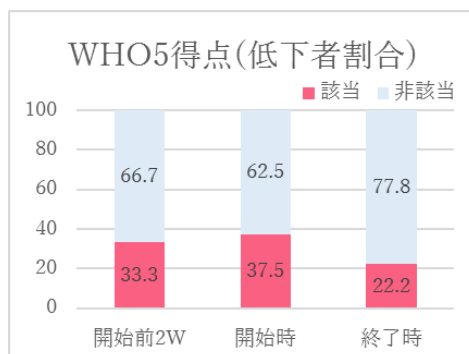


コミュニケーションロボット PALRO

日常生活動作能力  
 (FIM : Functional Independence Measure)



精神的健康状態



健康度自己評価

